

# 少子高齢化、国や地方自治体の莫大な借金、長引く不況、低迷する福祉・・・ 大きな問題を前に、みのわ信矢が松戸市議会でどれだけのことができるか分からない けど、ただひたむきに、ただがむしゃらに、この松戸で頑張りたい

## 深刻な少子高齢化は男女を問わずみんなで取り組むべき問題 男女や年代を超えた連携で、松戸を少子化対策先進都市へ！



このまま少子化が進むと、将来の日本は、未来の松戸はいったいどうなってしまうでしょう？社会全体の生産性は低下し、連動して公共サービスも劣化。街はすさみ、毎日の生活における利便性の低下も指摘されています。小さな子ども達の未来を守るためにも、そして私たち自身の将来を守るためにも、少子化対策は一人ひとりが真剣に考えるべき問題なのです。

**女性が安心して働き、男性が家事に参加しやすい社会の仕組みづくりを、性別や世代を超えた連携で実現！**

## さまざまな命との共生は、先進都市としての責任です。 優しさの通うまちづくりのため**動物殺処分ゼロ宣言！**

みのわ信矢はかつて、殺処分寸前の動物たちを引き取り、ともに暮らしていました。近ごろ、無責任な飼い主によるペットたちの遺棄や動物虐待などが数多く報道され、社会問題化しています。子どもたちが健全に育つ地域づくりや、優しさがかよ街づくりのためにも、動物愛護政策は大切な取り組みだとみのわ信矢は考えています。

**ワンちゃん、ニャンコの命を守り多くの命と共生する街を目指して動物殺処分ゼロを目指します！**



## 大空のもと美しい景観の中で暮らす。 電線地中化と並木化で安全と美観を

大空の下で美しい景観に囲まれて暮らす。鮮やかな並木道を抜けて自宅に向かう。みのわ信矢は、そのような環境を大切にしたいと考えています。みのわ信矢の議員としての取り組みの一つに、八柱駅周辺の電線地中化事業の促進があります。県事業に対して、地元のみなさんと勉強会を積み重ね、さまざまな提案や提言を続けよりよい街づくりを進めてきました。電線を地中化し、そこに将来に向けて幼木を植えて並木道を育てる。電柱を取り去り、電線を地中化することは、美観のみならず、災害時の安全にもつながっています。

**空と美観と安全を守る  
そんな街づくりを進めています**



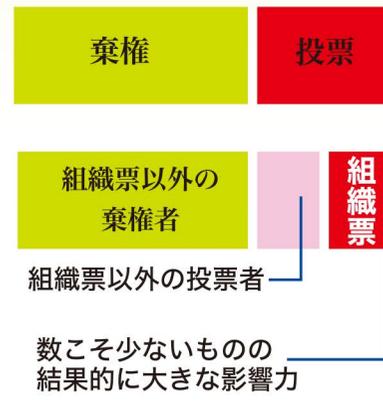
沿道の電線を地中化し視界が広がった道路（上）と、電柱が並び電線が空を伝う道路（下）の景色の違い



## 松戸市議会に期待などしないよ！でも待って下さい！ 投票率アップで松戸を生まれ変わらせる事ができます！

4年前の市議会議員選挙の投票率は、41,11%。たった4割の人しか選挙に行かない上に、そのおよそ半分は組織票だといわれています。ということは、自由な意思で議員を選んでいるのはわずか2割の市民でしかないということなのです。「組織票で当選した議員を大事にするよ」。残念ながらこれが今の役所の職員の本音なのです。

**だから皆さんにお願いします。  
投票する先がボクでなくてもいい。  
健全な市政を市民が取り戻すために  
11/16 ほとにかく投票に行ってください！**



SANDINISTA matsudo

## SANDINISTA (サンディニスタ)

みのわ信矢の機関紙のひとつである「サンディニスタ」。その名の由来は、ニカラグアを独裁的に支配してきたソモサ一族の圧政から逃れるため、キューバ革命の影響を受けて1961～90年の間で展開された政治的闘争にある。79年にはソモサ独裁政権を倒し、主権を国民へと奪取した。